

(第3種郵便物認可)

# マーボーナスの味わいに

ギョーザの具とタレを再現した白米用瓶詰め調味料「ご飯にかけるギョーザ」のさくら市限定版「温泉ナス入り」が、6月の発売以降、取扱店が限られる中で1000個以上売れている。

「かけるギョーザ」シリーズは物流業の「ユーワールド」(宇都宮市)が「栃木県らしく、遠距離でも持ち帰りやすいお土産を」と2014年に発売。小川拓矢専務(44)と開発担当者が打ち合わせのついでにギョーザを食べた際、小皿のタレに残った具が「ご飯に合う」とひらめいた。「本業で県産品を海外の見本市に運び、忙しい

生産者の代わりに来場者 第1弾は「日光限定ゆにアピール」の中で、食ば入り」で、さくら市とに關する知識や生産者との縁を育んだ」と小川弾。同市・喜連川温泉の専務は説明する。油が濃い豚肉の代わりにヘルシーなおからを使い、水が出たり変色したりするキャベツやニラの代わりにピーナツで野菜のうまみを再現したスターンダード版が評判を呼び、地域とのコラボに乗り出した。【林田七恵】

ナス入りはさくら市の道の駅きつれがわやJR氏家駅東口の駅前情報館で販売。希望小売価格は540円(税込)。スターンダード版は県内の駅やサービスイリアの売店、道の駅のほか、東京駅でも売っている。

コレ  
良かんべ

## 宇都宮・ユード さくら市限定 ご飯にかけるギョーザ

